



鴻巣市立下忍小学校

令和4年9月30日発行

学校だより

◎教育目標（目指す児童像）
「進んで学ぶ子」「思いやりのある子」「元気でがんばる子」

鴻巣市鎌塚10番地
Tel 548-2300

「マニュアル」のその先へ

校長 野本 昌宏

「暑さ寒さも彼岸まで」。その言葉通り、最近ではすっかりと秋めいてきました。

先日、5年生が社会科見学に出発する際に、「バスの席で並ぶんだから、奥の人が先頭だよ。」「はい、並んで。」と子どもたち同士で声をかけあっていました。さすがは、林間学校を経験した5年生だなとうれしく思いました。並ぶという一見単純なことですが、集合する場所も違えば、どの順で並ぶか状況も違います。特に、コロナ禍となつてからは、全校で体育館に集まる機会は皆無です。周りの状況を見て場に応じた行動をとるといふことの機会が減っていることは大変残念なことです。学年によっては、前もって細かく指示しておくことも必要だとは思いますが、その学年なりに、自分たちで状況を考えながら動くことのできる力を身に付けてほしいと思います。



そんなことを考えながらいたある日の職員室。ALTのメリッサ先生を当番の子ども2人が呼びに来た時です。「失礼します。Ms. Melissa, Please come to our classroom.」と入ってきました。これ自体は、見慣れた光景ですが、感心したのは各学級に配布されている「お迎えカード」(マニュアルのようなもの)を見ないで話をしていたからです。

慣れている子もいれば、慣れていない子もいますから、「マニュアル」は初期の段階にはあってもよいものだと思っています。一方で対面でのコミュニケーションを成立させるためには、相手を見て話をすることはとても大切だと思います。以前、他市の英語の授業を参観した際に、会話文が書いてある紙をずっと見てお互いが話しているのを見て残念に感じたことがあります。

手元に、原稿やマニュアルがあるとどうしても頼ってしまうところが私自身あります。特に、対面でなく、リモートや放送の時は手元の原稿を頼りがちです。一方で、原稿を頼りにできない状況の方が、話すことにより集中し伝えたいことを伝えられたりする気がします。

「マニュアル」のその先へ、いつ、どうジャンプアップさせていくか。大人の側の見極めが大事だなと感じる1年の折り返しです。

ミシンボランティアの皆様、ありがとうございます

ミシンボランティアの皆さんが、5・6年生の家庭科の授業に入ってください、支援していただいています。

ボランティアの皆様のおかげで、個々への支援ができています。担任の先生方も一人ではとても大変だったところ、的確にアドバイスをいただけるので、「とても助かっている。」と感謝しています。

お忙しい中、ボランティア活動にご参加いただき、ありがとうございます。今後も本校では、感染症対策を講じながら、教育活動の充実を図っていきます。



彩の国教育の日・彩の国教育週間について

埼玉県では、教育に関する理解を深めていただくため、11月1日を「彩の国教育の日」、11月1日から7日までを「彩の国教育週間」としています。

例年、県や市町村、学校、社会教育施設、各種団体等で、学校公開や親子向け体験教室などの事業を多数実施していますが、今年度も、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、多くの事業が自粛されています。このような状況だからこそ、身近な人と「自然」「人」「本」「家族」「地域」の大切さや思い出について語り合ってみませんか。ほっこりした話題で、元気で明るい気持ちになる教育週間にしましょう。

<リンク先> <http://www.pref.saitama.lg.jp/f2215/kyouikunohi/>

※下忍小ホームページでもリンク先が掲載されていますので、ご参照ください。

9月より【定期メール】を毎月2回配信しています

本校では、急な天候悪化による下校時刻の変更や不審者情報等で連絡メールを配信しております。しかし、携帯電話の機種変更・迷惑メール設定変更の際に本校の連絡メールが届かなくなってしまうケースがあります。

そこで、9月より毎月第2・第4木曜日の2回、連絡の有無に関わらず【定期メール】を配信しています。毎月2回の【定期メール】が届かない場合はメールに不具合が起きていると思われるので、担任まで連絡帳でご連絡ください。